



SITW #29

第29回 山陰ITPro勉強会 | 29th Sanin IT professional Workshop

メインセッション

情報通信研究機構におけるネットワークセキュリティ技術の研究開発

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)では、誰もが安心・安全にネットワークを利用できる技術の確立を目指して、公的機関の中立性を活かしたネットワークセキュリティの研究開発および研究成果の社会への展開を進めている。

特に、日々高度化・巧妙化が進むサイバー攻撃に対して能動的に対抗するために、サイバー攻撃観測網「NICTER」の構築およびその観測結果を活用した研究開発や、標的型攻撃等の新たなサイバー攻撃に対抗する技術の研究開発などに力点をおいて実施しており、構築した技術を企業等に技術移転して社会でも活用いただいている。

本講演では、NICTで実施しているネットワークセキュリティ研究における最新の成果等を紹介する。

講演者略歴

平和昌

国立研究開発法人 情報通信研究機構
ネットワークセキュリティ研究所 研究所長

- 平成3年、郵政省通信総合研究所(当時)に入所。移動通信の電波伝搬、通信方式の研究開発、研究開発における外部評価制度の導入の業務に従事。
- 平成12年、通信・放送機構へ出向。電子機器のEMC、電磁波セキュリティに関する研究開発に従事。
- 平成17年、総務省へ出向、情報通信国際戦略局技術政策課技術企画調整官。ICT研究開発における総務省の競争的資金制度「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」のプログラムオフィサーとして制度の運営に従事。
- 平成20年、独立行政法人情報通信研究機構総合企画部主任研究員。
- 平成22年、同統括、平成23年、同社会還元促進部門長。
- 平成24年10月から現職。博士(工学)。

サブセッション1

アプリの開発検証は、LXC+Ansibleで楽ちんにやろう！

アプリケーション開発で欠かせないのが、機能追加やバグ対策などのバージョンアップ。でも実環境で動作させたらうまく動かないって事割とありますよね。

チョットした変更から大きな変更まで検証はLinuxコンテナと自動構成管理ツールで、コーヒーでも飲みながら楽ちんに検証しましょう。

Linuxコンテナ管理のLXCと構成管理ツールAnsibleを使った検証についてお話しします。

講演者 岩石 睦 (ファーエンドテクノロジー株式会社)

サブセッション2

僕がCTFに参加するわけ

セキュリティエンジニアでもない、どこにでも居そうな一般人が、実際のCTFの問題の解説等を交えながら、次のような事をお話させていただきます。

- ・なぜCTFに参加するのか
- ・参加した結果何を得ているのか
- ・得たものをどうしているのか
- ・いつか使える無駄知識

講演者 たけなかひろゆき (Route9)



日時 2015/11/21(土) 13:30~17:30

場所 松江オープンソースラボ (松江テルサ別館2F)

参加費 無料

勉強会終了後、有志による懇親会も開催します。こちらもぜひご参加下さい。

会場 旬鮮酒場 だん

会費 4,000円 (学生2,000円)

勉強会・懇親会参加申込はこちら

<https://sitw.doorkeeper.jp/events/33615>

※懇親会に参加希望の方は事前にお申込み下さい。

朝SITWも開催！

時間 10:00~11:30

ネタを持ってきて喋ってもよし、話題を持ち寄って、ワイワイ雑談するもよし、プレゼンの練習をするのもよし、宿題(!?)を持ってきて知ってる人に聞いてもよし、その他自由。(ただし飲食はNGです)

会場は10:00に開けて、午後の準備のため11:30で午前の部は終わりにします。

ホワイトボードとプロジェクタ、音響は準備します。

朝SITWは参加申込不要です。直接会場にお越し下さい。